

平成31年度計画の自己点検・評価（中間）の確認結果について

令和2年1月20日
大学評価専門委員会

「第3期中期目標期間における内部質保証の実現に向けた自己点検・評価に関する基本方針」に基づき、年度計画の実施状況を把握し、適切な次年度計画の策定に資するため、平成31年度計画の各実施主体（理事・関係委員会・事務局等）は年度途中（12月1日現在）における自己点検・評価を行った。

これを踏まえ、大学評価専門委員会では、主に中期目標・中期計画の達成に向けた観点から、各実施主体が行った自己点検・評価の内容について確認を行った。

1. 全体的な状況について

全ての年度計画について、年度末までの予定を見込んだ上で、「年度計画を十分に実施している」または「年度計画を上回って実施している」との自己点検・評価がなされており、全体としては順調に進捗していることを確認した。

しかしながら、一部の年度計画においては、次の点について留意していただきたい事項があった。

- ・数値の根拠が十分に付されていないため、客観的に「順調に進捗している」と判断し難い
- ・年度計画に掲げている一部の事項に対し、自己点検・評価がなされていない
- ・課題や長所の記載が無い、又は、不十分であることから、自主的・自律的な改革・改善が図られているとは捉えがたい

これらの計画に対しては、下記の共通したコメントで対応を依頼している。年度末の自己点検・評価に向けての確実な進捗はもちろんのことであるが、これらを踏まえ、引き続き、記載内容の工夫や、課題や長所を把握し改善や伸長に繋げることが必要である。

【共通コメント】

○記載内容について

順調に進捗していると思われませんが、△△について□□の点が不明ですので、□□についての詳細な説明をお願いします。

年度計画にある「△△」に関する記載がありませんので、△△について実施状況を説明してください。

○課題の記載がない場合

課題は挙げられていませんが、中期計画の達成の観点も踏まえて、課題の有無や、ある場合は、どのように解決を図るかについて、継続的に検証を行ってください。

○長所の記載がない場合

長所は挙げられていませんが、中期計画の達成の観点も踏まえて、長所の有無や、ある場合はどのように伸長させるかについて、継続的に検証を行ってください。

2. 自己点検・評価結果の次年度計画への反映について

今回の自己点検・評価（中間）で指摘されたコメントや、整理した課題・長所（改善すべき点や伸長すべき点）については、次年度計画の策定や、今後の取組に反映させることにより、引き続き内部質保証の実現を図ることが重要である。

また、今年度（令和元年度）は4年目終了時評価における最終年度となる。令和元年度終了時点で、中期目標期間終了時の中期計画達成に至る確実な進捗はもちろんであるが、十二分に成果があげられるよう、積極的な改善・改革に努めていただきたい。

特に、数値目標を掲げている計画について、既に目標を達成している場合は、現状の維持あるいは更なる伸長に努めていただきたい。一方で、未だ達成できていない場合は、原因と対応策を早急に検討し、令和3年度（中期目標期間終了時）までの目標達成に向け、取組を加速していただきたい。

以上